

2016年の11/27~12/1、アメリカのシカゴで開催された国際学会RSNAの電子ポスター教育展示部門に、私たち放射線科が応募した演題 **Possible Efficacy of Lubiprostone on CT Colonography : Improvement in the Examination Accuracy for Defecation and Colon Expansion** (内容は: 大腸CTで使用する下剤についての研究と新提案です) がとても厳しい選考をくり採択され、最高峰の舞台上で日頃の研究成果を発表しました。

実は、私たちの演題が国際学会で採択されたのはオーストリアのウィーンで開催された2015年ECRに続いて二度目で、今回放射線医学の世界で最難関と言われる学会にまで参加できたのは大変名誉なことで感激と同時にとても緊張しました。

当然ながら会場は外国人ばかりで講演や発表を聞いても内容をちゃんと理解できたかどうか微妙でもっと英語を勉強しておけば良かったなあとつくづく感じました。

しかし、肝心の発表が外国の先生方に好評だったと考えると、結果オーライだったみたいです。

学会後には医療機器メーカー主催の情報交換会が開催され、海外の先生方が注目する医療や研究についての意見を伺うことが出来、大変勉強になったRSNAでした。今後も私たちは、今回の採択をひとつの励みとして、さらに世界水準の検査に取り組んでいくつもりです。

最後に、当院放射線科を支えてくれた市民の皆様、先生方、有形無形のサポートをしてくれた仲間に、参加報告を兼ねて御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

**RSNA (北米放射線学会)とは**

毎年11月から12月にかけてシカゴで開催される世界最大の放射線医学関連の国際学会。世界中から医師など6万人前後の医療関係者が参加する100年以上の歴史がある学会。採択されるのが難しいことで知られていて、大学病院の医師や技師が参加を念願し目標とする最高峰学会のひとつ。



↑ 発表スライドと記念撮影です



↑ 会場は北米最大 幕張メッセの2.5倍位広い



↑ オープニングセッションの会場 超満員!



↑ 多くの人で賑わう電子ポスター展示

**シカゴ滞在記**

「音楽と芸術の街」シカゴは、夜景がきれいなビルや美術館・博物館など趣きのある建物が並び、とてもおしゃれな街でした。会場で食べたDrおすすめのハンバーガーも美味しかったです。



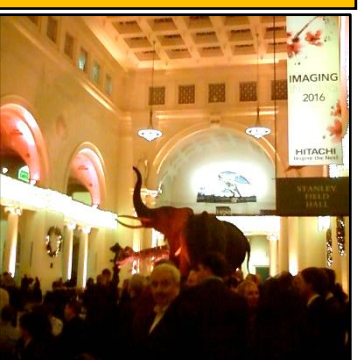
'ザ・ビーン' 奥にはクリスマスツリーが!



RSNA バスが多数走り、街中がお祭りモード!



おすすめNo1のハンバーガーを美食



シカゴ美術館でアートに囲まれ情報交換会